



弘陵造船航空会

弘陵造船航空会 第70回クラス幹事会議事録

平成29年5月12日

弘陵造船航空会事務局

開催場所：平成29年3月25日（土）15：00～18：00

場 所：横国大 海洋棟3階 302室（製図室横）

司会進行 中島理事

1. 開会の挨拶……………角会長
卒業生製作の模型について大学より調査依頼があり、調査したところ幻の客船「榎原丸」の模型であることが判明し、教育文化ホールのYNUミュージアムに展示することとなった。よい機会なので総会当日にYNUミュージアムを見学できるように手配している。
2. 事務局報告（予定）
 - ・次年度役員について……………角会長
会長・副会長は異動なし
教室代表理事が日野教授から川村教授に交代
庄司監事は昭和46年卒の田中氏に交代
竹川理事は昭和48年卒の入江氏に交代
アドバイザーの松村氏については昭和43年卒の山下氏に一年間交代をお願いした。
 - ・来年度活動計画……………阿部理事
(1)総会を5月27日に実施予定
(2)第57号会報の発行
(3)特別事業は予定していない。
 - ・交流会（総会）について……………阿部理事
5月27日に実施。卒業生製作の模型展示見学を総会前に実施予定。講演会は平成3年卒の柏木孝夫氏（商船三井美術部美術研究所長）に依頼済み。イベントは平成4年卒馬渡氏によるバイオリン演奏、絵画展、利き酒会、
 - ・教室状況の報告……………日野教授
(1)学部の組織改正で来年度からは、理工学部機械・材料・海洋系学科に属することになる。
(2)今年度はドクター1名、マスター36名が修了。大学院卒業生の主な就職先は造船7人、船級教会4人、その他重工関係5人、自動車3人、船社1人。学部卒業生37人は20人が大学院進学（うち18人が本学）、公務員2人、自動車2人、重工関係2人、造船1人、船社1人、他。3月15日付で高木洋平准教授が着任。
 - ・弘陵造船航空会会報 第57号の準備について……………角会長
例年の会報と目次構成は大きな変更はないが、日本丸保存活動について庄司監事に執筆を依頼している。鈴木教授による池畑元会長の追悼文を掲載予定。原稿は5月末に締め切り、発行は7月末ないし8月はじめとなる予定。
 - ・今年度決算見込みと来年度予算について……………中島理事

3月24日までの実績で説明。会費収入は約30万円減少。新入生26名→19名、卒業生28名→22名。寄付金はほぼ予定通り。会員名簿の広告は102万円→79万円。事務局経費は約10万円縮減（竹川理事の入院）、池畑元会長の弔慰金発生。ホームページサーバー移管費用（約4万円）発生。予算で計画した基金への積み立て（20万円）は断念した。年度としては若干の赤字であり、翌年度への繰越金が減る。来年度予算について、会費収入は卒業後60年以上経過の方の会費免除対象者130名を考慮し、210万円程度とする。弘陵賞のメダル作成費用（5個：約24万円）については基金から取り崩す。事務担当者の交代に伴う引継ぎ費用が発生し、事務局費が約12万円増加の予定。会費収入の増加がポイントとなるが、現計画では基金から約28万円取り崩す予定。

- ・ホームページサーバーの変更について……………阿部理事現在のホームページサーバー（個人運用で無料）の管理者から高齢のため停止したいとの要請があり、3月末に民間のサーバーへの移動を実施した。urlについては変更なしとしたので閲覧利用上は変更ないが、サーバー維持費用（約1.6万円/年）が発生する。

3. ミニ講演 「東日本大震災時の東北の一造船所の被災状況と復興の歩み」

講演者：米澤 雅之 氏（株式会社IHI 昭和50年卒） （16：00からの予定）

講演概要：2010年4月から赴任した東北ドック鉄工（株）で6年前にいわゆる想定外の経験をしました。小職は、当日の3月11日（金）には高松にいましたが、高松で東日本大震災を知り、50時間後の3月13日（日）の夜には1,200km程離れた会社に戻りました。4月7日（木）の巨大余震によるライフラインの再切断にひるむことなく、会社の変電所が津波で全水没してからほぼ1ヶ月後の4月15日（金）に全社への通電、4月21日（木）に復興後第一船の修理船の入渠をすることができました。この経緯について知恵の泉には書けなかった被災金額・補助金の話も説明する予定です。

4. 自由討議（17：00～18：00）（軽食をとりながら）

(1)会費収入の減少に対する本会活動内容の見直し

- ・来年度から卒業60年以上で会費免除となる方が約130名ですが、クラス幹事会に参加されている該当年次の方から寄付という形で続けてもよいというお話がありました。
- ・今年度の会報発送時に会費・寄付の払込票を同封しますが、卒業60年以上の方には寄付としての継続をお願いする文書を同封することとしたい。

(2)会報・名簿の発行について(電子化?)

- ・電子化(CDも含めて)には賛成の方が多数。
- ・古い名簿の廃却が大変(そのまま捨てられずシュレッダー処理が必要)。
- ・記録としては紙での保存も必要(平山)。
- ・希望者には紙での配布も実費で行うことにすればよいが希望は少ないとみる。(角)

(3)その他

- ・2019年が学科の創立90周年であり、何か催したらどうか(小野)
- ・弘陵造船航空会としては2021年が創立50周年になる。(中島)

- ・最近の就職先や研究内容を見ると「弘陵造船航空会」という名称はあまりに古い。思い切って「弘陵会」としてはどうか。(後藤)
- ・米国の大学では卒業生に対する寄付要請が非常に強い(照井)
 - 同窓会の会費とは別に大学として寄付集めをやろうとしている。(角)
- ・同窓会からの大学に対する支援は十分ですか。要望はありませんか。(小野)
 - 研究資金が足りないことに困っています。(日野)



講演中の米澤氏



第70回クラス幹事会 出席者リスト 2017/3/25

No.	卒業年度	氏名	備考
1	S24	川村 正高	◎
2	S33	柳田 圭一	◎
3	S36	照井 克明	◎
4	S36	殿村 三郎	◎
5	S38	小野 龍太	◎
6	S39	後藤 哲夫	◎
7	S43	今北 文夫	◎
8	S43	山下 誠也	◎
9	S44	斎藤 敏郎	○自由討議不参加
10	S44	平山 次清	◎
11	S45	加戸 正治	◎
12	S45	珠久 正憲	◎
13	S45	庄司 邦昭	◎
14	S46	角 洋一	◎
15	S47	阿部 孝三	◎
16	S47	小林 富夫	◎
17	S48	中島 清隆	◎
18	S50	米澤 雅之	◎
19	S52	廣瀬 峰夫	◎交流会幹事
20	S53	久保田 秀夫	◎
21	S54	小口 芳生	◎
22	S62	秋永 清	○交流会幹事
23	S62	牧野 有紀	○交流会幹事、自由討議不参加
24	教室代表理事	日野 孝則	◎
		計 24名	